



安心でおいしいお肉を 安定的に食べられる 環境を整える。

「ごちそう」という言葉から、真っ先に思い出す食材の一つ「お肉」。
ステーキ、焼き肉、すき焼きといったメニューは、食卓を華やいだ場に盛り上げる。
みんなが幸せになる安全・安心のおいしいお肉はどのように食卓に届くのか。

その過程で重要な役割を担うのが、JAグループ群馬の一角、群馬県食肉卸売市場（玉村町）。
生産者が出荷した家畜を食肉処理し、スーパーや飲食店に届くよう販売している施設だ。
直売所「肉の駅」でも、地域の方に良質なお肉を提供している。
この施設の役割は、競りによる公正な取引により、生産者と消費者双方の利益を守ること。
さらに、国際的な衛生基準を満たした作業工程で高品質な肉に加工すること。
牛肉は米国やEUなどへの輸出認定を受け、世界8ヶ国+EUに輸出している。
豚処理施設では、更なる衛生基準の高度化を目指し、
世界基準であるSQF（Safe Quality Food）の認証を取得、その維持・運営に努めている。
昨年は牛を1万3761頭、豚を48万1807頭、県内外から受け入れた。

農家が丹精込めて育てた家畜を高品質な肉に加工し、農家と消費者をつなぐ懸け橋になる。
そして「上州牛」「上州豚」といった群馬を代表するブランド肉を、地元の方にたくさん食べてもらい、
食肉を通じて笑顔が広がることで、地域がもっと元気になる。
それが私たちJAグループ群馬の願い。



知って 納得JA

Q JAが発揮している「インフラ機能」って、何？

A 「耕そう、大地と地域の未来。」をスローガンに、
未来に向けて発揮する、
地域を支える機能のことです。

JAは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」です。助け合いの精神のもと、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を目的としています。

JAは、組合員と地域住民の皆さまの暮らしを、総合事業を通じて支えると共に、豊かな仲間づくりや、次世代に地域をつなぐための活動を応援することで、地域を支えるインフラとしての機能を発揮しています。

そして、消費者の皆さまの信頼に応える安全・安心な国産農畜産物を安定的に供給するため、農業振興を最重点課題として取り組み、生産者と消費者の懸け橋になることで地域の未来を支えるインフラ機能を担うために、JA自己改革を進めています。



耕そう、大地と地域の未来。

JAグループ群馬